

学習内容報告書 フォーマット

学校名	玉野市立築港小学校
授業者	赤木 則子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

環境問題 岡山県の川と海

1-2. 学年

第5学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間、理科「流れる水のはたらき」

1-4. 単元の概要

理科の「流れる水のはたらき」の学習にも関連することから、海に流れ込む川に注目する。そして、実際に岡山県の一級河川の下流から上流に出向き、その違いを観察し比較する。また、上流に位置する吉備高原都市にある小川で遊ぶ体験を通して、海とつながる川や池についてイメージを広げ、豊かな自然を守ろうとする気持ちをもたせる。

また、1学期に環境問題について考えているため、環境に関しても触れさせたい。そこで、水に着目し、水質検査を行うことで環境問題に繋がられるようにする。さらに、2学期には地域にある日の出海岸で海の生き物や植物などの探索を行い、地域の海にも目を向けられるようにしたい。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校は市内の中心地にあるが、地形的には海と山に囲まれている。学区には交通の要衝である宇野駅や宇野港があり、学区外には大きな造船所もある。しかし、こうした環境は児童にとって当たり前のことであり、海そのものや玉野市と海の関係について調べる機会や経験がほとんどなく、課題意識も高いとはいえない。さらに、海に流れ込む大きな川や自然に流れる小川が身近にないため、触れたり遊んだりする経験がなく、川や池が海とつながっているイメージはほとんどない。

そこで本単元では、川で遊んだり調べたりすることを通して海や川のもつ価値や魅力を十分感じさせたい。そして、川や海とのつながりや環境を中心に調べながら環境を保全しようとする気持ちをもたせるとともに、その行動化を促す。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- 川や池、海のもつ価値や魅力を十分に感じさせるとともに、人間の生活と川や海をつながりを考えさせながら、海洋の環境を保全しようとする気持ちをもたせる。
- 学区の環境の現状を知り、環境について調べることを通して、自分達にできることを主体的に考え、環境を大切にしようとする態度や郷土を愛する気持ちを育てる。

1-7. 単元の展開（全11時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
3	<p>○環境について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県の三大河川 	<ul style="list-style-type: none"> ・理科「流れる水のはたらき」の学習をもとに、川や池について調べたいという意欲をもてるようにする。
2	<p>○海とつながる川について調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高梁川の上流から下流について実際に調べる。(大きさ、水量、流れの速さ、水質など) ・吉備高原都市にある小川で活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査や体験したことを通して、川や池が海につながっており、玉野市の環境の一部になっていることに気付くようにする。
2	<p>○水質検査をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分達で実際に汲んできた水を使って、水質検査を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・GT（サンキョウエンビックス）からの話や水質検査の結果から、下流になるほど水は汚れることを知り、生活排水がどのくらい水を汚しているかを調べる。また、人間のくらしが海洋環境に与える影響について考える。
3	<p>○海の環境を調査しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日の出海岸で海の生き物や植物などの探索を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・GT（アスエコ）から海岸の環境や生き物などについて話を聞いたり、実際に網やライフジャケットを使用して海岸を探索したりして、身近な海に対して親しみがもてるようにする。



2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

高梁川上流と下流、身の周りの川や宇野港の水の水質検査(パックテスト)をすることで、水のきれいさや大切さについて考えることができる。

2-3. 本時の展開（本時の活動は外部講師の田淵知子氏）

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1 水に関するクイズをする。 2 本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> くんできた水の水質検査をしよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・水に関する選択式のクイズを行うことによって、全員が参加し、興味・関心をもつことができるようにする。
3 水質検査(パックテスト)の方法を知る。 〈検査する水〉 ①高梁川 ②豪溪の谷 ③少年自然の家の川 ④水道水 ⑤水路の水 ⑥水道水+牛乳 ⑦水道水+醤油 ⑧水道水+洗剤 ⑨メダカの水槽 ⑩蒸留水	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが汲んできた水だけでなく、普段使用している水道水に何かを加えた水も検査することによって、身近に感じられるようにする。 ・グループの中で役割分担をすることで、全員が水質検査を行うことができるようにする。
4 水質検査(パックテスト)を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・検査の結果をワークシートに記入することで、数値を視覚化し、結果を比べやすくする。
5 結果について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・検査結果と色見表のシートとを見比べることで、自分たちで数値を出すことができるようにする。
6 環境を守るための対策を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分達ができること（生活排水対策など）を考え全体で共有することで、身の周りの問題として捉えることができるようにする。
7 本時まとめをする。	

3. 今回の活動の自己評価

外部講師を招き、事前に児童が調べたい水を汲んでいたが、講師が水道水や水道水に他の物質を混ぜたものなどを準備していたため、実験結果を比較することができた。児童が実際に高梁川の水を汲んだり、水質検査を行ったりすることで、身近な問題として捉えることができていた。水の大切さだけでなく、自分達が水を汚さないためにはどうすればよいかなどについても考えることができた。今後の学習の展開では、地域の環境全体に視野を広げていき、さらに環境保全について自分たちにできることを考えさせたい。

4. 今後の課題

今までは海そのものや玉野市と海の関係について調べる機会や経験がほとんどなかったが、調べるうちに、問題意識が以前より高まった。実際に、様々な場所の水の水質検査を行うことで、環境問題を考えるきっかけになった。さらに児童自身が、環境保全の担い手の一人である自覚をもつとともに、身近な環境を大切にしようとする気持ちが高まるようにするため、調べたことを発表したり、自分たちにできることを実践したりすることが大切であると考えている。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。